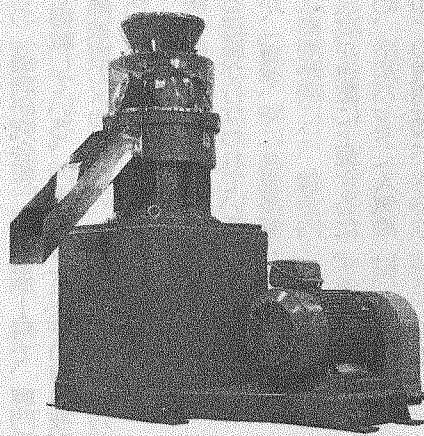
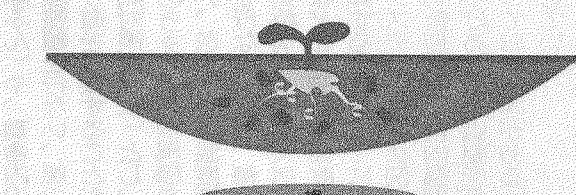


関東の農場で順調に稼働中のプレートドライヤー



ハイテムがペレットプラントに採用する円錐ローラーフラットダイス縦型ペレタイザー



乾糞ペレットの窒素が植物に吸収されていく過程

ハイテムでは、プレートドライヤー、ペレタイザーの周辺機器（コンベヤー、貯留ホッパー、制御盤など）のいずれも日本本社で設計し、天津工場で製造する。

(株)ハイテム（安田勝彦
社長・本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10）は、2002年から鶏糞排気を活用して鶏糞を販売しているが、2014年からは乾燥部を多段式（標準は4段）にして所要スペースが3分の1になり、構造もシンプルとなり、「ハイテム」が「ハイテムペレットドライヤー」を次

世代機種として販売。現在3台が関東の農場で順調に稼働している。

一方、ハイテムと岐阜大学・大場教授との産学共同研究では、プレートドライヤーで乾糞ペレット、発酵鶏糞、化学肥料で、肥料として乾糞ペレット、発酵鶏糞、化学肥料で、肥料として乾糞ペレット化した乾糞ペレットには化学肥料

に接觸しなくなる。さらには土壤中のバクテリアによって硝酸イオンとなり、両イオンとも植物の根に吸収されていく。アノニアとして空中に放散されないため、鶏糞中

ハイテムが本格取り組み

プレートドライヤー+ペレットプラント

岐阜大との産学共同研究で好結果

肥料として登録できる可能性があることが分かった。発酵しない鶏糞は、根焼けなどの作物障害を起こすといわれてきたが、根焼けなどの作物障害を起きた。

乾糞ペレットは散布後、土壤中で発酵を始めると、発生するアンモニアは土壤中の水分にすぐ溶けてアンモニウムイオンとなり、悪臭公害になることはない。さらにはアンモニウムイオンは土壤中のバクテリアによって行なった結果、乾糞ペレットには化学肥料

に優る性能があり、普通の窒素がフルに植物の栄養となる【図参照】。乾糞ペレットが普通肥料として登録されると、「ハイテム」プレートドライヤーにはペレタイザーをシステム化していくニーズが今後増えていくと予想され、ハイテムでは、プレートドライヤーをシス

ト化で実績のある円錐ローラーフラットダイス縦型ペレタイザー（株）ヨダマシナリー製=乾糞が均等圧でフラットダイスに押し込まれ、ペレットの固さも均一で、高品質なペレットがスマートに生産される点が特長）を使用するペレットプラントに本格的に取り組んでいくとしている。

ハイテムでは、プレートドライヤー、ペレタイザーの周辺機器（コンベヤー、貯留ホッパー、制御盤など）のいずれも日本本社で設計し、天津工場で製造する。